

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年3月29日(2012.3.29)

【公開番号】特開2010-187808(P2010-187808A)

【公開日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2010-035

【出願番号】特願2009-33470(P2009-33470)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月14日(2012.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

図柄情報を変動表示可能な変動表示手段と、

所定の判定条件が成立したことに基づいて抽選を行う抽選手段と、

前記抽選手段の抽選結果が当りであるときに遊技者に利益を付与する利益付与状態に制御する利益付与状態制御手段と、を備え、

前記利益付与状態制御手段により前記利益付与状態に制御するときに前記変動表示手段にて前記図柄情報を変動表示を行って特定の図柄情報を停止表示する遊技機において、

遊技者が操作可能な操作手段と、

前記操作手段の操作を検出する操作検出手段と、

少なくとも二種以上の態様を表示可能な演出表示手段と、

前記図柄情報の変動時間内に有効期間が設けられ、該有効期間内に前記操作手段の操作を検出したときに前記演出表示手段の態様を制御することで、前記抽選手段の抽選結果が当りである旨を遊技者に告知し得る告知演出を実行する告知演出実行手段と、

前記抽選手段の抽選結果が当りであり且つ前記有効期間内に前記操作手段の操作を検出したとき、前記告知演出実行手段による前記告知演出を実行するか否かを所定の確率で判定する操作検出時判定手段と、を備え、

前記告知演出実行手段は、

前記操作検出時判定手段により前記告知演出を実行すると判定したとき、前記演出表示手段の態様を第一の態様から第二の態様に変更することで、前記変動表示手段にて前記図柄情報を停止表示するよりも前に、前記抽選手段の抽選結果が当りである旨を遊技者に告知する結果告知態様と、

前記操作検出時判定手段により前記告知演出を実行すると判定しなかったとき、又は前記抽選手段の抽選結果が外れであり且つ前記有効期間内に前記操作手段の操作を検出したとき、前記結果告知態様と同じく前記演出表示手段の態様を一旦は前記第一の態様から前記第二の態様に変更するが、所定期間の経過後に前記第二の態様を再び前記第一の態様に戻す結果非告知態様と、からなる前記告知演出を実行することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技領域に設けられた複数の入賞口のうち始動口に遊技媒体が入賞したに基づいて

前記判定条件が成立することを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

**【請求項 3】**

乱数を取得する乱数取得手段を備え、

前記抽選手段は、前記乱数取得手段により取得された乱数に基づいて抽選を行うことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機。